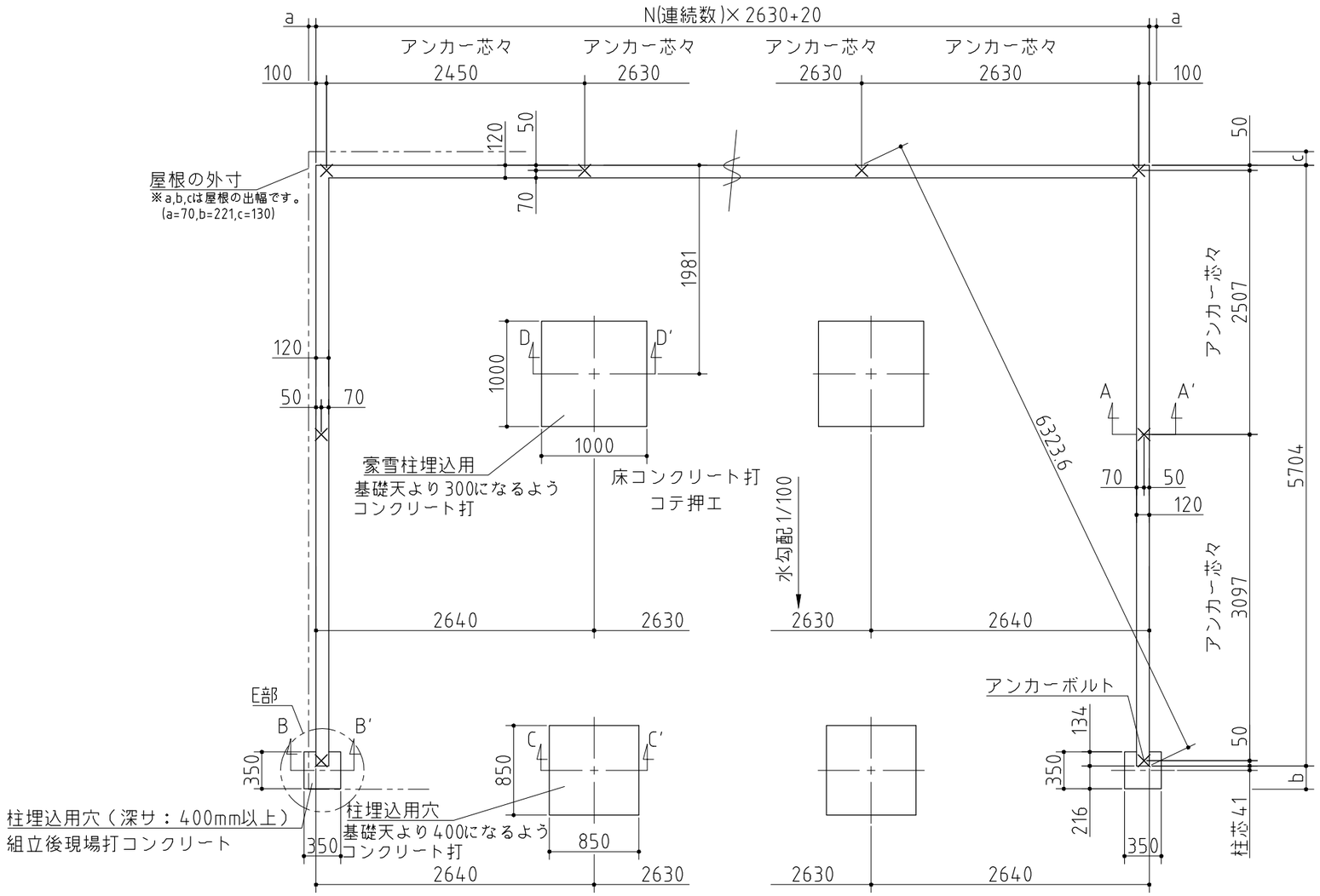
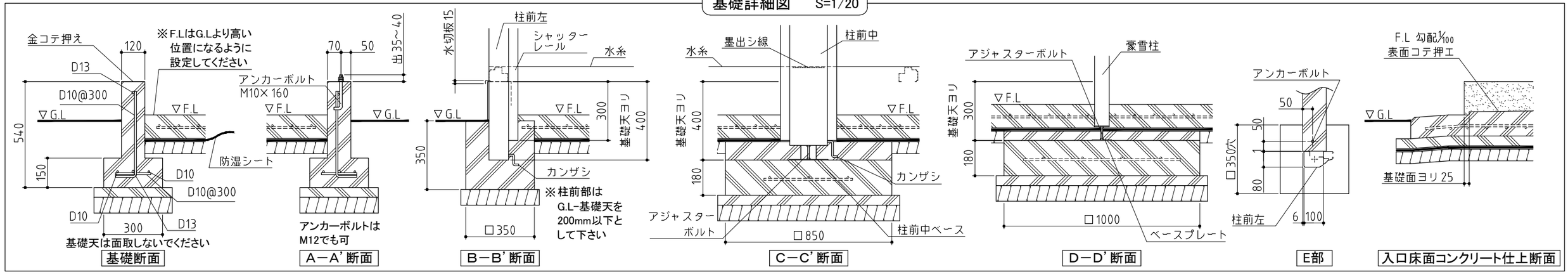


⚠注意
アンカーボルトは布基礎芯ではありません。

╳・・・アンカーボルト位置を示す。

基礎詳細図　S=1/20



※本図は間仕切壁なし仕様の図面です。
※強度の関係上、連棟数に応じて間仕切壁･耐力壁が必要となる場合があります。

基礎図

〈縮尺〉S=1/50
～豪雪型～

機種名　GRN－2657SL･HL･JL

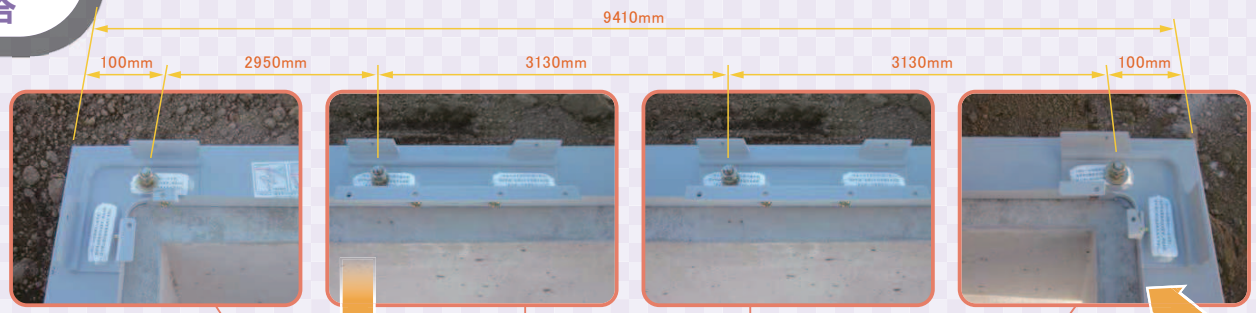
※寒冷地等は、地域の実情に合わせた基礎にしてください。

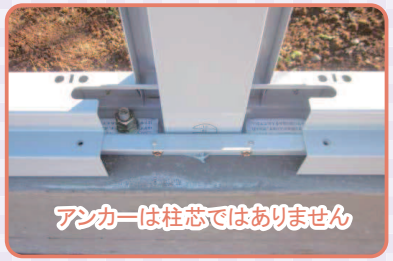
株式会社 稲葉製作所

基礎図参考資料

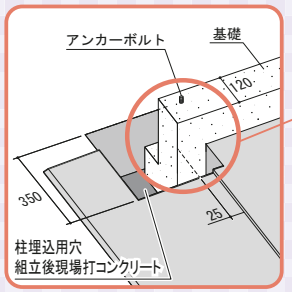
GRNタイプ3162連棟の場合

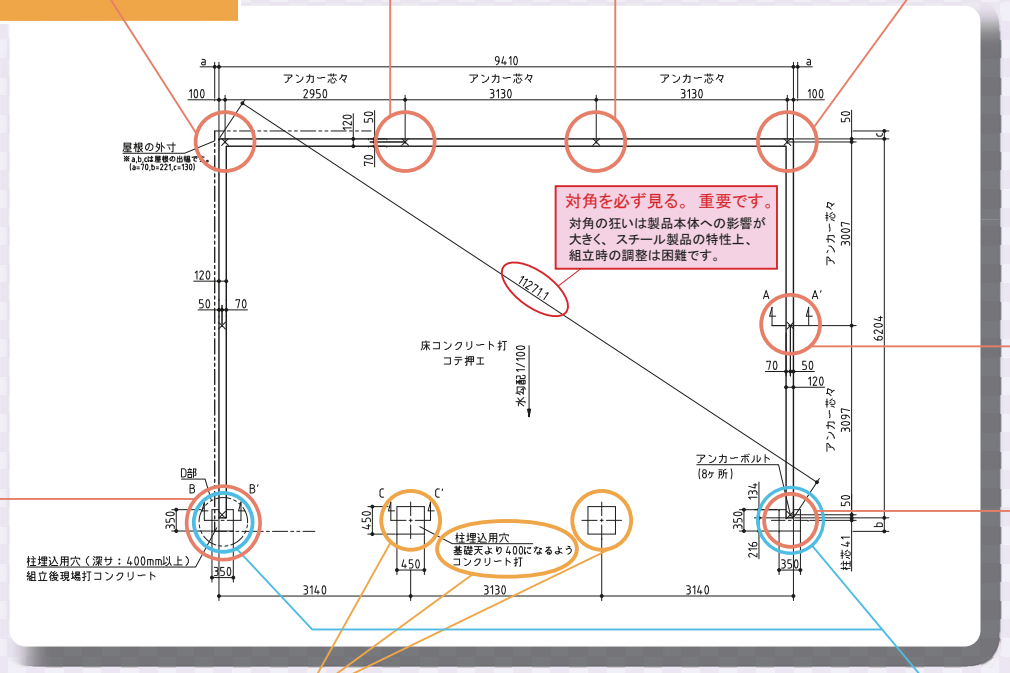
※下記寸法はGRN-3162S･H･JL-3連棟の寸法です。施工の際は必ず対象機種の基礎図寸法に則って下さい。

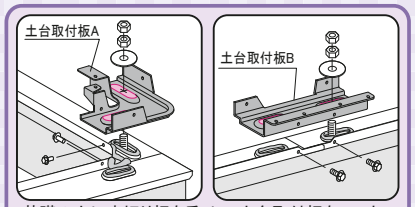




土台を設置する基礎天端は、水平でフラットになるように特に気を付けて仕上げてください。隙間が出来たり、建物がゆがんだりしてしまいます。

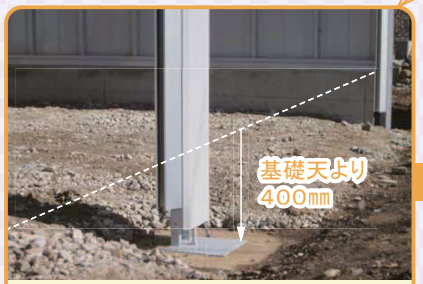






基礎の上に水切り板を乗せ、土台取付板をアンカーボルトで固定します。アンカーボルトの位置がズレた場合、土台取付板の穴を削って調整する事は雨漏りの原因となりますので出来ません。
アンカーの位置は正確にお願い致します。

水切り板が外側に落ちるので、基礎の外寸法が重要です。



基礎天より400mmになるよう打設をお願い致します。
（高基礎仕様は基礎天より700mm）
※製品荷重が中柱に掛ります。

アジャスターで多少の高さ調整が出来ます。
調整範囲は374～414mmです。

前柱とシャッターレールは地中に埋め込みます。

※アンカーボルト（ワッシャー1枚、ナット2個含む）は先行出荷が可能です。ご希望の際はお問い合わせください。

アンカーボルトはM10×160です。M12（市販品）も使用出来ますが、クリアランスに余裕が無い為、より本体施工精度が求められます（M12アンカーボルトをご使用の際は、ワッシャー（1枚）とナット（2個）もご用意ください）。